

## 事業実施報告書

事業名 安心して子どもの発達相談ができる親子の遊び場と母子支援専門職育成

### 1 事業の目的

近年、核家族化や親が遠方など周囲に相談相手がいない「孤育て」は深刻化していると危惧されており、地域で子育てしていくために育児支援メンバーやサポーター、関係支援団体と協働し、育児相談室や安心して過ごせる母子の居場所を作り、さらに支援者同士が横につながり切れ目ないサポートができるような母子サポート環境を作っていきたいと実施しました。

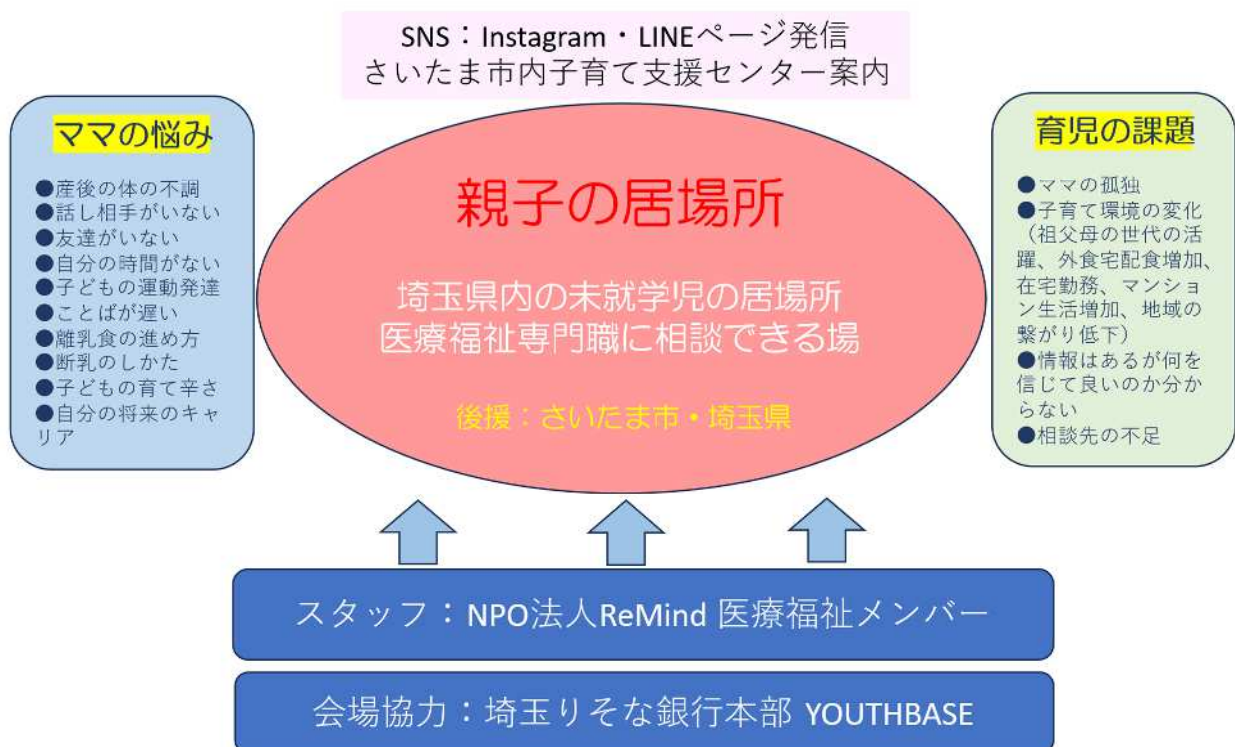
### 2 事業内容

#### (1) 事業の概要

埼玉りそな銀行本部の YOUTHBASE を拠点に親子を対象として遊び場と医療福専門職に気軽に相談できる場として「親子の居場所」を毎週水曜日 10:30～16:00 実施しました。0 歳児～未就学児のママに寄り添い、地域で子育てを手伝いたいサポーターの方と共に子どもの成長を見守れるような居場所を作りました。

孤独育児をしているママや誰かと話したい方、育児の相談がしたい方など 86 組、のべ 500 名の方が参加してくれました。一日中、目が離せないお子さんと二人きりで疲れてしまっているママも多かったので、せめて親子の居場所に居る時はくつろいで自分の時間が持てるよう親子に関わりました。

孤独なママをゼロに！社会みんなで子育てしたい♥



## (2) 事業の流れ

6月の毎週水曜日はReMindの育児支援メンバーと「親子の居場所」の運営やルール広報方法など会議→方向性決定、フライヤー作成、埼玉県、さいたま市後援申請フライヤー配布のお願い、SNS 広報開始

7月 2日～毎週水曜日 10:30～15:00 親子の居場所スタート、

7月 2日 プール開始

開催時の写真など SNS で発信、 広報として中日新聞埼玉版取材され掲載

8月 6日 AM プチ講座 管理栄養士「食事で夏を乗り切ろう」

8月 6日 PM プチ講座 言語聴覚士「お口育て遊び」

8月 20日 夏祭り・流しそうめん開催

9月 24日 プチ講座「ストレスをためずに臨みにつながる方法」リスニングママ

10月 15日 プチ講座「遊びで伸ばす！子どもの力と育ちのヒント」作業療法士

10月 29日 ハロウィンパーティ開催

11月 19日 プチ講座「お口の発達」言語聴覚士

12月 10日 プチ講座「骨盤チェックとケア」理学療法士

12月 17日 クリスマス会開催

2月 18日 プチ講座「離乳食」管理栄養士

2月 26日 「浦和ベビママランチ会」参加者ママコラボ協働開催



親子で遊びながら専門家に発達相談もできる  
ママと子どもの心と体をのびのびする場

主な対象：未就学児の親子  
スタッフ：ReMindメンバーの助産師、保育士、臨床心理士、管理栄養士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、鍼灸師など  
サポーター：地域の高齢者や子育てに関わりたいボランティアさん  
予定：毎週水曜日  
内容：発達を促す手遊び・体操、おもちゃでスタッフ・サポーターと親子で一緒に遊ぶ、お子さんの発達相談、ママの体の相談、ママの休息  
\*スタッフ・サポーターを含めた支援者育成として子育て支援に必要な専門スキル講座を開催、アーカイブ作成し母子支援専門職の育成を図る



子どもの発達は十人十色！発達を促す遊びを親子で一緒に楽しく！

## (3) 連携・協力機関

さいたま市生活福祉推進室

さいたま市社会福祉協議会

さいたま市子育て支援センター

アイパレット

さいたま市内産後ケア施設

等

**親子の居場所**  
毎週水曜日  
10:30～15:00  
会場/埼玉県そな銀行本社  
1FそなYOUTH BASE連動

高卒がなかなか決まなくて...  
お口をゴカんと開けてるのよね  
言語聴覚士  
いつまで経ってもなかなか決まらないのよ  
管理栄養士  
高卒がなかなか決まなくて...  
決まったものしか食べないのよね  
保育士  
なんでお友達と多くあそべないのかわからないのよね  
作業療法士  
なんでお友達と多くあそべないのかわからないのよね  
理学療法士  
子育てがつかない...  
産後ケア  
あつぱいお母さん  
言語聴覚士  
ちょっと休みたいの  
鍼灸師  
おっぱいが痛いんだけど  
臨床心理士

おんなで食べると  
おいしいね

主催：NPO法人ReMind 後援：埼玉県・さいたま市

### 3 成果及び今後の展開

#### 【参加者感想】

- ・ 家にはない知育玩具で遊ぶことができたり、スタッフの方々が子どもを見てくれている間にひと息できたりと親子で楽しく過ごせた。
- ・ 集合住宅に住んでおり水遊びができてとてもありがたかったです！娘も楽しく遊べたのでよかったです。アットホームで、スタッフさんも皆さん良い方達でした。
- ・ とても綺麗で整った設備の中、様々な分野の子どもに関するプロの方々がスタッフとして在中している遊び場は他にないと思う。子どもの成長だけでなく親のフォローもして下さるため、安心感がある。
- ・ のんびりご飯が食べられました。食べて遊べて喋れて聴けて体験できて盛り沢山でした！
- ・ スタッフの方が温かく迎えてくださり、子どもへの声かけも優しく、親子共に安心して楽しい時間を過ごすことができました。
- ・ 親身になって話を聞いて下さり、また、楽しい遊びをたくさん教えて下さったからです。娘も私も楽しめました。ありがとうございました。
- ・ いろんな方に話を聞いてもらえて元気になった
- ・ 初めての場所でしたが、スタッフの方が話しかけてくれて、安心感がありました。専門的な話を聞けたり、子どもと同年代のママと話せて良かったです。
- ・ 子供から目を離してもスタッフの方が見守ってくださっていたり、育児に対してアドバイスをいただけたり、居心地が良かったです。
- ・ たくさんの先生方に接して頂いて、寄り添ってお話を聞いて頂いて心が前向きな気持ちになりました。
- ・ 専門職の方々がいる安心感と、毎週利用できるところが大変ありがたいです。

#### 【事業を行って・今後の展開】

今回の助成事業では「孤独なママをゼロに」をテーマに、多職種医療福祉専門職で親子の居場所を6月から今年2月まで開催しました。当初は参加者が集まらないのではないかと心配もしましたが、フライヤーを見てきてくれた参加者がお友達ママを誘ってくれるなどしてくれて、少しずつ地域に親子の居場所の存在が知られてきました。

当初は医療クリニックへのチラシ郵送を想定していましたが、子育て支援センターからの案内などで参加者が増えたことから今年度は案内が出来なかったため、来年度に実施していきたいと思っております。

また、開催して気付いた点としては、①浦和という土地柄、マンション住まいも多く地域のつながりが少ない②朝から夜まで赤ちゃん和妈妈二人だけの生活で大人と話す機会がない③旦那さんがオンラインで在宅勤務しているため自宅で赤ちゃんを泣かせることが出来ずママの居場所がない④動くようになった子どもを一日中見守っているため心が休まらない、自分の時間がない⑤断乳、離乳食の進め方で悩んでいる⑥大人の食生活が外食・宅配文化になっていて離乳食に悩んでいる。

毎週末就学児の親子と関わる中で、ママが自宅で孤独にお子さんと向き合っているのに辛いと言えない実態を目の当たりにし、(もちろん幸せで楽しい瞬間も多々ありますが)安心して話せる&相談できる環境の必要性を実感しました。毎週参加してくれる親子も居て、感想からも少しでもママ達の居場所になれたのではないかと思いますので、来年度も引き続き自主事業として継続していきたいと計画しています。

3年間大変お世話になりました。今後ともどうぞよろしく願いいたします。